

管理番号

60

## 研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	免疫チェックポイント阻害剤による抗がん治療効果を予測する 血清検査法の開発  (免疫チェックポイント阻害剤に対する応答性を予測する血清バイオマーカーの開 発)
研究開発期間 (西暦)	2023年4月～2024年3月
研究機関名	東京大学医学部附属病院
研究責任者職氏名	助教 雨宮 貴洋

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

## 研究の説明

## 1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

免疫チェックポイント阻害剤は、がん細胞が免疫反応を回避しようとする働きを阻害する薬であり、癌薬物療法において重要な役割を担っていますが、薬が治療効果を示さない患者の割合が半数を超えることも明らかになってきました。免疫チェックポイント阻害剤による治療を開始する前の段階で、治療の効果が得られるか予測できれば、最適な薬物療法の選択が可能になると期待されます。我々は、低侵襲に複数回の測定が可能な血清バイオマーカー（タンパク質等）によって、治療開始前に免疫チェックポイント阻害剤の治療効果を予測する方法の確立を目指して研究しています。これまでの研究の結果、複数の血清タンパク質がバイオマーカーの候補として得られており、それぞれの血清中濃度の測定値（あるいは、それらの測定値を組み合わせて計算した値）を基準値と比較することで、免疫チェックポイント阻害剤の治療効果を精度良く予測できる可能性が見出されています。本研究ではこれらの血清バイオマーカー候補に関して、健常者における濃度の範囲がどの程度であるかを調べることで、治療効果の予測判定を行う際に最適と考えられるバイオマーカー（あるいは、その組み合わせ）を選択します。

## 2 使用する献血血液の種類・情報の項目

献血血液の種類：検査残余血液（血清）

献血血液の情報：なし

## 3 共同研究機関及びその研究責任者氏名

《献血血液を使用する共同研究機関》

なし

《献血血液を使用しない共同研究機関》

なし

## 4 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。

《研究方法》 血清バイオマーカー候補となっているタンパク質に関して、血清中濃度を測定し、頂いた血清をもとに健常者の測定値とし、癌患者における測定値と比較解析し免疫チェックポイント阻害剤への応答を確認するためにより適切な血清バイオマーカーを見出します。

- |   |
|---|
| 5 献血血液の使用への同意の撤回について<br>研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。 |
| 6 上記5を受け付ける方法<br>「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。           |

受付番号	R050028
------	---------

本研究に関する問い合わせ先

所属	東京大学医学部附属病院
担当者	雨宮 貴洋
電話	03-3815-5411 内線 34803
Mail	amemiyat-ky@g.ecc.u-tokyo.ac.jp